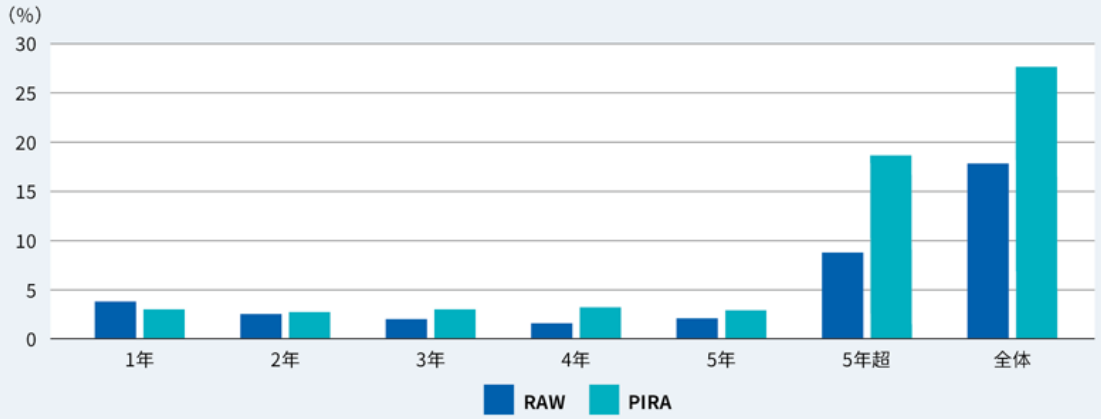
NEDA□□□□□□□□□□□□□□□□
Image

Image

**MS□□□□□□**

□□□□□MS□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□MS□□□ADL□QOL□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

**図1　追跡期間におけるRAWおよびPIRAのイベント割合**

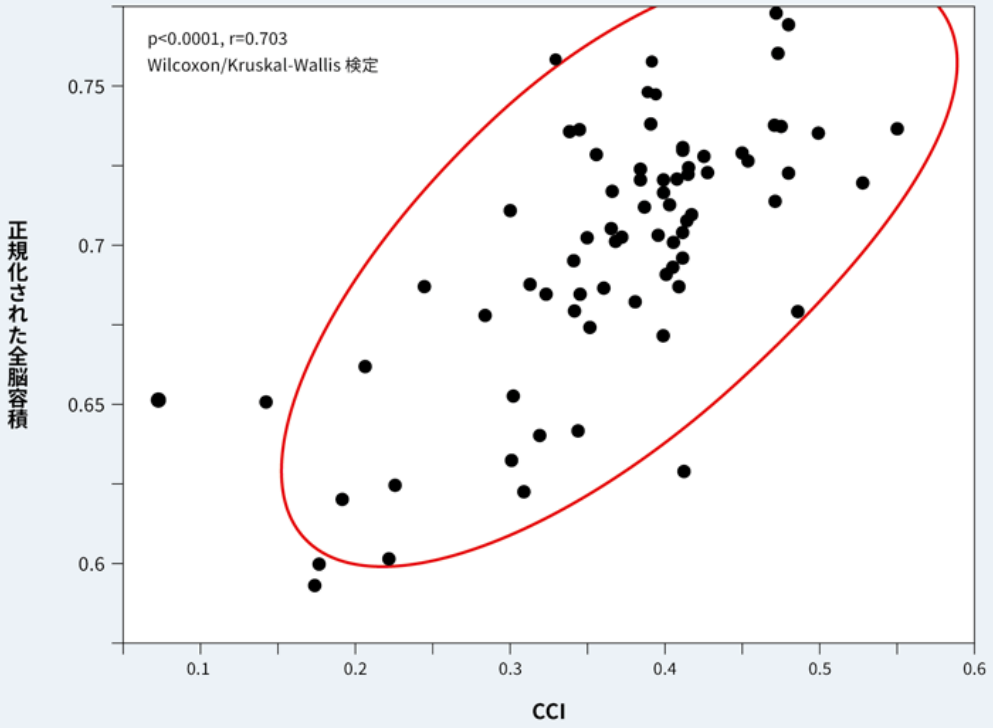



**試験概要**
**目的**：MSと診断された患者における、RAWおよびPIRAの障害蓄積への寄与を調査
**対象**：イタリアのMSレジストリのデータから得られた、発症から1年以内で追跡期間5年以上のCISおよび早期再発寛解型MS患者5,169例
**デザイン**：多施設共同、観察的、後ろ向きコホート研究
**リミテーション**：障害の悪化の定義を、障害の発生が確認された最初のイベントとEDSSスコアのみとしており、従来のPIRAはT25FW、9HPTなど幅広く評価していたため、本研究はPIRAを過小評価している可能性がある。軽度の再発やMRI所見の炎症などPIRAに影響するイベントを排除している可能性がある。

Portaccio E, et al. Brain. 2022;145(8):2796-2805.

Image

**図2　CCIと全脳容積の関係**




**試験概要**
**目的**：MS 患者における脳萎縮の程度を分類するための、CCIの分数異方性（FA）などのカットオフ値を調査
**対象**：2017年6月～2018年6月に東北医科薬科大学にてMRI検査を受けたMS患者75例、健康成人21名
**方法**：MRI検査にて脳容積を測定
**リミテーション**：単一施設研究であり、選択バイアスの影響がある。MS患者の臨床経過がやや軽度であること、脳容積測定値は生活習慣、遺伝的要因など、生物学的要因の影響を受ける可能性がある。脳萎縮に関する老化が、脳全体と脳梁で同様でない可能性がある。

Fujimori J, et al. Mult Scler Relat Disord. 2020;45:102388.

## □□□□□□□□□NEDA-3

NEDA-4□□□□□□□□MRI□□□□□□□□

□□□